



しろしたこうさく 城下広作県政報告誌

県民の身近な代弁者
熊本県議員
熊本市北区選出
熊本市庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645
Fax.096-385-9767

県民の身近な代弁者

2013年 6月発行

第 56 号



ご挨拶

梅雨の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の報道では「アベノミクス」の効果で景気が上向いているとの言葉をよく耳にします。

果たして、本当にそうなのでしょう。少なくとも私は、地方である熊本でその実感を味わっている人は、ほんの一部ではないと思います。ガソリンの高騰、資材価格の上昇など、幅広い分野で経営悪化の影響を受けている企業は少なくないようです。こうした状況では、就労者の賃金アップは到底望めず、安定した生活を送ることはできません。

この7月末には、参議院選挙が行われます。私たちの暮らしに大きく関わる国政の舵取りを任せる、候補者、政党を選ぶ選挙です。次世代の子や孫達が安心して暮らせる社会を建設してもらうためにも、今回の選挙を私達が監視して参りましょう。

平成25年6月吉日

県議会議員(公明党) 城下 広作

県下各地を廻っています!! 現場主義を貫く。



▲阿蘇市役所内において意見交換



▲阿蘇火口の模様



▲火口にある観測所内を視察

4月14日、阿蘇市役所を訪問。阿蘇市の観光問題を中心に意見を交わし、特に阿蘇火山口見学に関するガス規制に関わる取り締まり策について意見交換をさせて頂きました。私の提案として、現在のガス規制では、観光客の約3割が結果的に見学できない現状打破を考える必要性を訴えました。

4月14日、午後より、三十数年ぶりに阿蘇中岳火口の見学に行きました。山上に近づくと映画の「ジュラシックパーク」を思わせる火口の断崖絶壁の地層。火口の下を覗き込むと「エメラルドグリーンの湯溜まり」。この素晴らしい光景は、阿蘇、熊本の宝であり、日本人はもちろん、世界の人々に是非見てもらいたいと思います。6月議会では、是非、阿蘇火口見物の推進策について私なりの提案を投げて見たいと決意しています。多くの方が一度は阿蘇火口を見学されていると思いますが、最近の火口を見ておられない方は、是非とも阿蘇火口見学を楽しんでください。

「城下広作奮闘記」…頑張るぞ!!



▲5・3「憲法記念日」辛島公園街頭演説



▲5・11熊本難病疾病団体協議会



▲5・26県行政書士会総会、写真は加藤会長。

「憲法記念日」街頭演説…平和憲法を守る!!

熊本市内7カ所、菊陽町光の森ショッピングセンター前で「憲法記念日」に当たり、国会議員、県議、市町議員と合同で街頭演説を実施しました。憲法に関しては様々な考えがあることは承知していますが、私個人の意見は「憲法」は「一般法」とは違い、簡単に変えられるものではなく、憲法で保障されている3原則は絶対必守すべきと考えます。

難病対策に全力で支援…難病団体総会参加

5月11日、熊本市のウェルパルクもと(総合保健福祉センター)内で、第11回熊本難病・疾病団体協議会総会に招かれ、挨拶をさせて頂きました。この難病問題には県議に初当選して以来、患者の皆様とよく懇談して参りました。一部では、国の支援により改善された事もありますが、まだまだ課題は山積しています。今後も支援して参ります。

熊本県行政書士会の顧問になりました!!

街角の身近な法律家として、その存在が我々市民に重宝されている行政書士の先生方、県行政書士会の主催で毎年行われる総会に招かれ、参加させて頂きました。また、本年から当協会の顧問県議として迎えられ、今後は益々行政書士会に関わる諸問題を勉強させて頂き、協会のお役に立てるよう頑張っ参ります。そして市民とのパイプ役を果たしたいと思います。

運転代行業務関係者との懇談

5月2日、熊本市繁華街運転代行協会の役員の皆様と、同協会がかかえる諸問題について話し合いを行いました。当協会とは、これまで話し合いを重ねてきましたが、今回は特に熊本市街での業務活動について市街地のイメージに悪影響を与えないルール作りのあり方を一歩踏み込んで議論しました。

県社会保健労務士会総会に参加

6月8日、熊本市内にて、熊本県社会保健労務士会総会に招かれ、参加させて頂きました。働く者にとっては、会社から労働条件が守られることを望むし、会社側としては、会社の発展維持の為、社員の協力を望む声は少なくありません。この調和の為に、当協会と今後の連携を図って参ります。

●お知らせ!!…6月の会議で一般質問の予定…是非傍聴を!!

6月会議では、一般質問の予定です。質問の予定内容は、昨年の熊本広域大水害の現在の復旧状況や、今後の防災・減災対策のあり方、農業・漁業関係では、TPP交渉に係わる本県への影響、観光問題では、阿蘇中岳火口見学の規制のあり方、教育問題では、県立農業高校・農業大学の農業後継者の人材確保について、環境問題では、下水道管や下水道施設の長寿命化、廃油やし尿等の一時保管のあり方を質問する予定です。
裏面も御覧下さい…

●ホットライン(お気軽にご相談ください。)

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●メール shiroshita@kumamoto-komei.net

2012・7・12 熊本広域大水害を忘れない！ 支えてくれた人達の恩を絶対忘れない！！

7月12日午後より、熊本市内の白川流域を見廻り、被害の大きさにビックリした光景が今でも脳裏から離れません。とにかく一日も早い復旧・復興を願い、被災者の意見に耳を傾け、県議会本会議や委員会、復旧・復興に向けた請願提出の手続き等に尽力させて頂いた一年でした。4月14日、「琵琶苑」の隣保組の総会にご案内を受け、皆様と懇談できました。

「琵琶苑で お別れの会」開催

豪雨で用地買収の北区龍田陳内 住民ら「お別れ会」

約80の全戸が移転対象となった住宅地「琵琶苑」の隣保組の総会に合せて開き、避難中の住民など約100人が集まった。

会は町内の空き地にブルーシートを敷き、幼児から80歳代のお年寄りまでが弁当や飲み物を囲み、再会を懐かしんだ。大道芸や踊りもあった。市内のアパートに避難する荒牧俊子さん(48)は「近所の人に会えて安心した。28年間住んだ地区の結び付きが強かった」

思い出、移転の不安語る

昨年7月の豪雨で被害を受け、県の白川改修で用地買収の対象となった熊本市北区の龍田陳内4丁目14日、住民らが「お別れ会」を開き、地区の思い出や移転の不安を語り合った。

と振り返った。

県土木事務所の職員も訪れ、広場に椅子を並べ「相談所」を開設した。土地の一部が買収から外れた永田富士さん(64)は「被災した

全員が新居で安心して暮らせるように県に情報提供を求めている」と話した。

県によると、流域の移転対象は同地区を含め計240戸。改修中の十数戸を除き、3月末までに価格査定を終えて買収額を提示。うち14日までに57戸で契約を完了した。

(堀江利雅)



地区の思い出や移転の不安を語り合う住民ら
＝熊本市北区龍田陳内4丁目

県下の首長・各種団体との政策要望 懇談会を実施!!…知恵は現場に…

6/7阿蘇地域懇談会



6月7日、阿蘇市内において、阿蘇市郡のほとんどの首長・議長が参加し、政策要望懇談会を実施しました。人口減少、農業・観光問題等幅広く話題になり、特に阿蘇市郡の場合は、昨年の熊本広域大水害の早期の復旧を望む声が多くあり、その他にも、災害時の迂回路の確保も話題になりました。

6/8上益城地域懇談会



6月8日、御船町内で、上益城郡の首長・議長との政策要望懇談会を実施しました。この地域では、過疎対策や農業の後継者問題、道州制反対の意見が出され、地方行政の在り方、町民サービスの確保の財政的支援の厳しさを痛切に訴えられました。都市部では気付かない問題が山積していました。

6/14天草地域懇談会



6月14日、天草市内で、2市1町の首長・議長・商工会・金融・観光関係の代表が参加され、政策要望懇談会を実施しました。

ここでは、各市町から財政支援、高潮対策、幹線道路の早期完成等の意見が出されました。どれも深刻な問題で、人口減少と高齢化に悩む天草地域の支援は、待ったなしの状況でした。

6/15下益城地域懇談会



6月15日、宇城市内において、2市1町の首長・議長がほとんど参加され、その他に商工会、観光協会からも参加して頂き、政策要望懇談会を実施しました。

話題に上がったのは、幹線道路の整備、河川改修、農地整備や鳥獣対策、高齢者や障害者の福祉の充実策等があり、各参加者からは是非要望を叶えてほしいとの強い思いが伝わりました。